

研究所だより

第288号
2009年12月17日
発行：土佐清水市教育研究所
TEL 82-3016

<言葉遣いは話し上手の基本> 作文・挨拶全集より

⑤ 気の利いた言葉遣いとは

『これは気が利いているな』と思うような言葉は、決して言い古された決まり文句や、もったいぶった言い回しではありません。自分の目で見たこと、耳で聞いたことを、ありのままの新鮮な感覚で言い表した言葉でこそ、気が利いていると言えるのです。しかも、その言葉遣いがある場の雰囲気とぴったりと合い、聞く人にも嫌な感じを与えないことです。しみりした席で、はしゃいだ気分になるような言葉遣いをしたり、余りにもどぎつかったり、奇抜な表現も失格です。時や場所、相手をよく考えた上で、豊かな個性を、聞く人にかいま見せるような新鮮な表現を身につけることが大切です。



⑥ 敬語の使い方

日本語には、相手やそれ以外の人に敬意を表して丁寧な表現をする尊敬語や、自分をへり下らせることによって相手に対する敬意を表す謙譲語と言った特別な言葉遣い（敬語）があります。

外国語と比較して日本語の場合、敬語の使い方は非常に煩雑です。友人と先生に対する敬語の使い方は異なるし、男性と女性の場合も異なります。そこで、時と場所、相手に応じて使い方の原則をわきまえて使うことが必要です。馬鹿丁寧さや、極端な尊敬や卑下は改めなければなりません。特に女性は必要以上の敬語や美称（おコーヒー、おビールなど）を慎むように気をつけるべきです。過ぎたるは及ばざるがごとしと言いますが、何でも敬語を使えばよいというものではないのです。敬語は適所に適当に使用されてこそ、敬意を示すこととなります。

<市教研部会編制について>

市教研部会編制について各職場で話し合っていた結果をもとに、教研推進委員会で話し合いを持ちました。その結果として、先生方の多くが従来通りの部会編制を希望をしているということで、来年度もその方向で行くこと申し合わせました。教科部会のみにするという提案につきましては、却下することになりました。お忙しい中、検討していただきまして有り難うございました。

先生方自らの資質向上に役立つ場ですし、自らの取り組みを検証する場です。共に研究課題を共有し、自主的、主体的に自らの力量、資質向上を図るために教研集会に臨んで欲しいと思います。

各職場で話し合っていた集約につきましては、各校に送信していますのでご参照ください。

<来年度の市教研に関わる日程>

組織教研－4月21日（水） 午後3時より

1日教研－8月25日（水） 午前9時より

全体会－講師・渡辺恵津子先生（埼玉県公立学校勤務）

部会－部会単位

半日教研－11月10日（水） 午後1時30分より（部会により時間変更有り）

総括教研－2月初旬までに部会単位

<心の教育センター>

高知県心の教育センターでは、教育相談・人権教育に関わる内容について出前研修を行っています。校内研修などに利用してみたいでしょうか。

1, 児童生徒理解（カウンセリングマインドとは）

・「子ども達のサインが見える教師とは」等

2, 不登校児童生徒の理解と対応について

・「もしも、不登校が起こったら・・・」（学級担任の対応について）

・早期発見と初期対応について

・各段階での適切な支援のあり方について等

3, 「楽しい学校生活を送るためのアンケートQ-U」の活用法について

4, チーム支援の理論と実践について

5, 心の冒険教育（PA）の理論と演習

6, 構成的グループエンカウンター理論と演習

7, ロールプレイ・アサーショントレーニング

8, カウンセリングの基礎理論と演習

9, 保護者を対象とした講演

10, 人権教育全般について

・授業づくり

・「人権尊重の学級づくり・学校づくり」

・「携帯電話・インターネットと人権」など

* 問い合わせ先 高知県心の教育センター TEL 088-833-2932

FAX 088-833-2935

<年賀状>

年賀状は、年に一度の挨拶で、新年を迎えた事を喜び、気分を一新してまたこの一年を過ごそうとという、希望と祝福を込めてお互いに交換し合うものです。

平素、ともすればお互い疎遠になりがちな人が、交情を暖めるのによい機会ですから、日頃からご無沙汰している人や遠く離れている親しい人、何かと世話になった人などに、特に心を込めて書きたいものです。

<皆様ご家族お揃いで良いお年をお迎えください>

2010年がお互いの飛躍の年でありますように>